

夢の公演、募集中。



大阪・梅田 フェニックス・エヴォリューション・シリーズ 2019年5・8・11月／2020年2月 ホール無料提供



あなたの公演プランを舞台上で実現してみませんか？

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールは、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社が、CSR(文化・芸術支援)活動の拠点としてフェニックスタワー内に設置・運営しています(最大座席数335)。この、フェニックス・エヴォリューション・シリーズは、当ホールが公演企画を公募し、審査で選ばれた企画者にホールや付帯設備(基本費)を無料で提供します。併せてホールスタッフが公演開催のお手伝いもする公演共催事業です。企画者には公演の主催者として主体的に公演開催のためのマネジメントに取り組んでいただき、ホールは共催の立場で支援・助言を致します。対象はプロ・アマを問いません。芸術性やアイデアに恵まれながらも、発表の機会をなかなか得られずにいる国内外のアーティストの方々からの、ユニークな企画をお待ちしています。当ホールは、あなたの公演プラン実現をサポートします！

あいおいニッセイ同和損保
ザ・フェニックスホール

〒530-0047 大阪市北区西天満4-15-10

TEL: 06-6363-0211

concert@phoenixhall.jp

<http://phoenixhall.jp/>

●ホール提供日

2019年5月18日(土)、8月7日(水)、11月13日(水) / 2020年2月15日(土)

いずれか1日、9時～21時30分(準備・後片付けなど一切の時間を含む)。1日1公演の開催とする。
公演前日もリハーサルのためにホールを無料で提供します。(原則10時～17時30分)
ホールの見学を希望される方は、事前にお電話で日程をご相談ください。

●対象

プロ・アマチュア・ジャンル・年齢 問いません。 学生の方や、海外在住の方も歓迎いたします。

●審査基準

- ◇ 企画内容が明確で、高い音楽性を備えている
- ◇ 室内楽ホールに適し、かつユニークである
- ◇ この公演を機会に発展が期待される

●特典

公演後、当ホールを利用される場合には、ホール協賛公演としてホール使用料金の特別優遇制度が適用されます。
詳しくはホール事務局にお問い合わせください。

●応募方法

下記①～④をホール事務局にお送りください。
直接ご持参いただく場合は、土・日・祝を除く平日の9時～18時にお越しください。
FAX、電子メールでの応募はお受けしていません。

〒530-0047 大阪市北区西天満4-15-10
あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール
「フェニックス・エヴォリューション・シリーズ企画募集」事務局

①応募用紙

- ・ホールホームページ[<http://phoenixhall.jp/evolution/>]からダウンロードできます。
- ・郵送をご希望の方は事務局にご請求ください。

②音資料[必須]

- ・CD2枚以内、過去3年以内の録音に限る。
- ・本公演の出演者で、本公演のプログラムから最低2～3曲は必ず収録されているもの。
- ・資料には、必ず「収録日」「演奏者名」「曲目」を明記すること。
- ・一般のCDプレーヤーで再生可能な方式を用いる。

③過去のパンフレットなど、その他資料 [必須ではありません]

④映像資料 [映像・画像を使用する公演のみ必須]

- ・DVD2枚以内、過去3年以内の録画、国内仕様のものに限る。
- ・一般のDVDプレーヤーで再生可能な方式を用いる(ブルーレイは除く)。

※ホールには、専属の照明・音響技術者がおり、基本的に公演に携わります。

公演で音響機器(PA)や映像機器の使用、外部技術者の起用を予定される方は、企画書に明記願います。

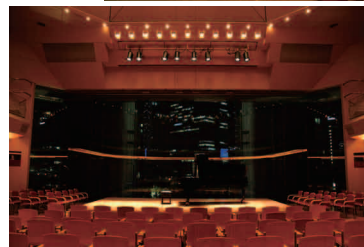
※当ホール設置のピアノでの内部奏法は認めません。

内部奏法を伴う作品演奏を予定される方は、別途ピアノをお持ち込みください。

また、内部奏法以外の特殊奏法を予定されている方も、奏法の詳細を企画書に明記願います。

※応募用紙・資料は原則として返却いたしません。

返却をご希望の場合はご応募の際に切手を貼った返信用封筒を同封ください。



●応募締切

2018年6月15日(金) 18時 必着

●選考アドバイザー

当ホールが委嘱する音楽評論家・新聞記者・研究者の方々(5名)

逢坂聖也(音楽ライター)

佐藤直子(読売新聞大阪本社文化部記者)

谷辺晃子(朝日新聞社生活文化部記者)

西村 理(大阪音楽大学准教授)

福本 健(音楽評論家)

(50音順、敬称略)

以上の方々へ企画案について意見をいただき、事務局で最終選考の上、決定いたします。

●審査結果

2018年9月初旬頃に、応募者全員に郵便で通知します。 ※結果に関するお問合せには応じかねます。

●費用

(利用日：2019年8月7日(水)、ピアノリサイタル、2時間公演、記録録音・録画有り、マイク1本使用、前日にホールリハーサルを行う場合の例)

費用項目	備考	エヴォリューション	通常の貸館公演
ホール使用料		¥0	¥237,600
ピアノ使用料(スタインウェイ)		¥0	¥24,840
ピアノ調律費	ピアノを使用する場合は必須です。※1	¥21,600	¥21,600
調律師立会料(本番終了まで)	1時間あたり¥3,240 ※2	¥19,440 (調律後6時間立会いの場合)	¥19,440
レセプションист人件費(7名分)	公演が2時間を超える場合の延長料はご負担いただきます。※3	¥0	¥63,000
追加設備操作人件費(1名8時間以内)	勤務時間が8時間を超える場合の延長料はご負担いただきます。演出により、追加設備操作人員が2名以上になる場合は、2人目以降の人件費をご負担いただきます。 ※4	¥0	¥24,840
照明基本料・コンサート明り		¥0	¥12,960
音響基本料		¥0	¥8,640
ワイヤレスマイク		¥0	¥3,240
録音(CD-R)		¥0	¥3,780
録画(DVD-R)		¥0	¥3,780
機材レンタル費用	ホール設備に無い機材を使用した音響・照明演出をご希望の場合 ※5	実費	実費
保険料	主催者側に起因する入場者に対する賠償事故、入場者の傷害保険	¥1,050	¥1,050
公演前日のリハーサルでのホール使用	原則として10時～17時30分	¥0	¥129,600
公演前日のリハーサルでのピアノ使用(スタインウェイ)		¥0	¥24,840
合計		¥42,090	¥579,210

消費税増税に伴い、料金が改訂される場合があります。

※1 9:00より以前に調律を開始された場合は、早朝割増調律料(7:00～8:00開始 ¥8,640、8:00～9:00開始 ¥4,320)が発生します。

※2 ホール指定外の調律師が調律を行う場合は、¥21,600の管理立会料が発生します。

※3 公演2時間超 延長料 ¥2,160/1名1時間

※4 8時間超の延長料 ¥3,456/1名1時間

※5 ホール所有の機材一覧については、ホールホームページ(<http://phoenixhall.jp/>)「ホールご使用について」→「設備・機材について」をご覧ください。

●その他、ホール無料提供の内容

- ・ホールホームページや情報誌「Salon」での公演告知
- ・ホールチケットセンターでのチケット取扱い
- ・広報活動に関わる費用(郵送費、CD代など)

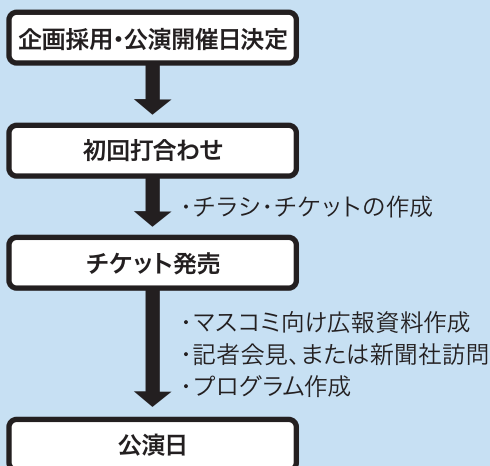
●その他、主催者に負担いただく費用

- ・出演者が、海外居住の場合の招聘業務とそれに関わる費用
- ・チラシ、チケット、プログラム作成と、それに伴う費用
- ・打ち合わせや広報活動などのためホールへお越しいただく際の交通費・宿泊費
- ・楽曲などの著作物の使用にかかわる著作権料

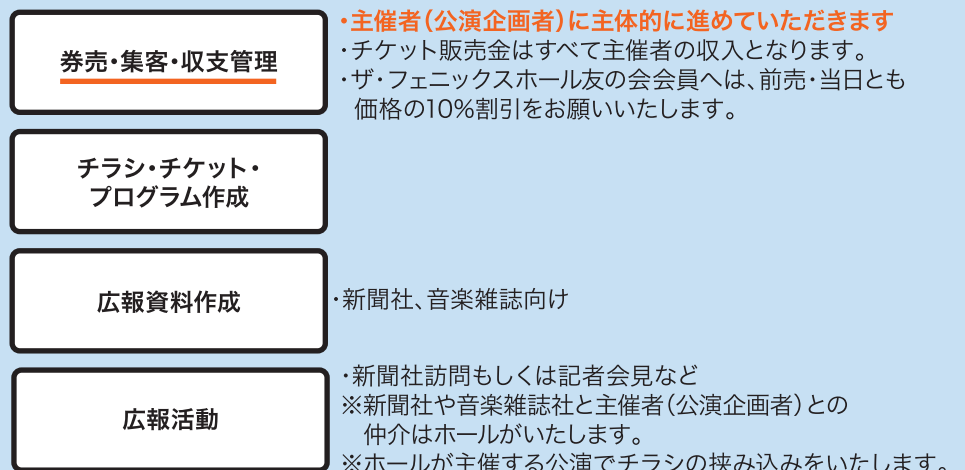
<公演開催時の費用について>

公演費用は公演内容により異なります。詳しくはホールへお問合せください。

●本番までの過程



●主催者(公演企画者)の仕事



過去3年間エヴォリューションシリーズ開催公演

2015年5月～2016年2月期

72. 5月20日(水)

胡弓いまむかし ～伝えたい音、今奏でる～

主催/胡弓いまむかし事務局
出演/木場大輔(胡弓)、菊央雄司(歌、三絃)、
足立知謙(ピアノ、シンセサイザー)

73. 7月4日(土)

バロックから古典派へ
そして、その移行期に生まれた「奥様女中」

主催/STUDIO M's事務局
出演/重松みか(メゾソプラノ)、
浅井順子、小泉 文(以上ソプラノ)
オペラ配役/セルピーナ: 藤井理紗(ソプラノ)
ウベルト: 片桐直樹(バリトン)
ヴェスパーネ: 竹内直紀(テノール)
演出: 重松みか
ピアノ伴奏: 関口康祐

74. 10月7日(水)

中川 岳 チェンバロ・リサイタル

主催/中川 岳リサイタル実行委員会
出演/中川 岳(チェンバロ)

75. 2月6日(土)

11弦ギター又は19世紀ギターデュオによる
「ギターの非日常」

主催/エスカルゴなギター教室
出演/DUO PAGODA
[金谷幸三、稲川雅之(以上ギター)]
ゲスト: キャロリーヌ・ドリュウム(ギター)

2016年5月～2017年1月期

76. 5月18日(水)

フランソワ・クーブラン
～「クラヴサン奏法」出版300年に寄せて～

主催/アンサンブル・レ・フィギュール事務局
出演/アンサンブル・レ・フィギュール
高橋美千子(ソプラノ)、櫻田摩耶(バロックヴァイオリン)、
石橋輝樹(フラウト・トラヴェルソ)、
原 澄子(ヴィオラ・ダ・ガンバ)、會田賢寿(チェンバロ)

77. 7月6日(水)

井上ハルカ サクソフォンリサイタル ～影と光の対話～

主催/井上ハルカリサイタル実行委員会
出演/井上ハルカ(サクソフォン)、戸田 恵(ピアノ)、
有馬純寿(エレクトロニクス/電子音響)

78. 10月5日(水)

響きのエクリチュール ～グレゴリオ聖歌から
近現代まで 教会音楽の千年記～

主催/ヴォイススペクティヴ事務局
出演/Voice=Specitive ヴォイススペクティヴ
眞木喜規(ディレクター、テノール)、北爪かおり、佐川 淳、
穴倉光子、鈴木 芳(以上ソプラノ)、本郷恵美子、
八川浩子(以上アルト)、岡本雄一(テノール)、中田浩隆、
森 敦(以上バリトン)、林 康宏(バス)

79. 1月21日(土)

ウルトラ・ピアノデュオ 88×88=田中正也×佐藤卓史
宙で生まれる響きのスペクタクル

主催/田中正也×佐藤卓史 ウルトラ・ピアノデュオ事務局
出演/田中正也、佐藤卓史(以上ピアノ)

2017年5月～2018年1月期

80. 5月17日(水)

左手のピアノ音楽史編纂プロジェクト
～バッハを中心とするバロック時代編～

主催/一般社団法人ワンハンドピアノミュージック
出演/智内威雄、有馬圭亮(以上ピアノ)

81. 7月8日(土)

イマジナリー・シアター
～チェンバロ劇場～

濱田あや チェンバロ・リサイタル
主催/濱田あやコンサート事務局
出演/濱田あや(チェンバロ)

82. 10月4日(水)

スペインの心を日本で
～Alma Española en Japón～

主催/Dreamproject
出演/谷本綾香(メゾソプラノ)、
ホセマリア・ガジャルド・デルレイ(ギター)

83. 1月24日(水)

近現代フランスのエスキス、
エスパス、エスプリ

～前田裕佳 ピアノリサイタル～
主催/YUKA MAEDA RECITAL DE PIANO
出演/前田裕佳(ピアノ)

2018年度 エヴォリューションシリーズ決定公演

屋野晴香ピアノリサイタル ～19世紀ウィーンへの旅～

2018年6月9日(土) 15:00開演 自由席

一般前売¥3,000(友の会価格¥2,700)
一般当日¥3,500(友の会価格¥3,150)
学生前売¥2,000 学生当日¥2,500

■出演 屋野晴香(ピアノ)

■曲目

ベートーヴェン: ピアノソナタ 第30番 ホ長調 作品109
シューマン: ウィーンの謝肉祭の道化 作品26
バルトーク: ピアノソナタ Sz.80 ほか

■お問い合わせ Office Sonne duft.der.sonne@gmail.com



©Saeko Yamasaki

Barrio Shino 日本初公演 “アルゼンチン・タンゴに魅せられて…”

2018年8月8日(水) 19:00開演 自由席

一般前売¥4,000(友の会価格¥3,600) 一般当日¥4,500(友の会価格¥4,050)

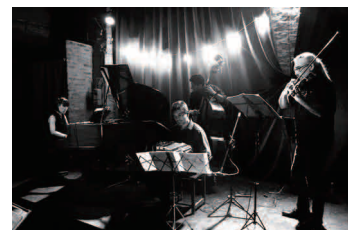
■出演 大長志野(ピアノ)、ルイス・アルベルト・シモ(ヴァイオリン)、
ブルーノ・ルドゥエニャ(バンドネオン)、
パトリシオ・コテラ(コントラバス)

■曲目

ピアソラ: 憂鬱なブエノス・アイレス
フリアン・プラサ: ダンサリン
ドミンゴ・フェデリコ: 緑の薬草 ほか

■お問い合わせ

Pinocoa tango@pinocoa.com



Sun Bones Trombone Trio × ピアニスト金田仁美 「三声の可能性」

2018年11月14日(水) 19:00開演 座席設定、入場料未定

■出演 武内紗和子、岡村哲朗、石井徹哉(以上トロンボーン)、
金田仁美(ピアノ)

■曲目

石戸谷 斉: Music for Sun Bones
エリック・エワイゼン: トリプルコンチェルト ほか

■お問い合わせ

Sun Bones Trombone Trio
sunbonestrio@gmail.com



アンサンブル九条山コンサート Selections セレクションズ

2019年2月16日(土) 開演時間、座席設定、入場料未定

■出演 若林かをり(フルート)、上田 希(クラリネット)、
石上真由子(ヴァイオリン)、福富祥子(チェロ)、森本ゆり(ピアノ)、
太田真紀(ソプラノ)、畑中明香(打楽器)

■曲目

ブーレーズ: 漂流
ジャン＝リュック・エルヴェ: 飛行の夢II
ジョルジュ・アベルギス: 7つの愛の罪 ほか

■お問い合わせ

アンサンブル九条山 e.kujoyama@gmail.com

